

# 省エネ診断実施例

## 堆肥センター

### ◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約14千円の光熱費(CO<sub>2</sub>排出量: 0.5t-CO<sub>2</sub>)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約236千円の光熱費(CO<sub>2</sub>排出量: 4.7t-CO<sub>2</sub>)の削減が見込まれる。

### ◆ 主な改善提案（投資不要・回収5年以下のエネルギー削減ポテンシャル）

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.照明の消灯（昼休み等）	作業場、管理室の照明を昼休み休憩時に消灯する。	11	—	—
2.コンプレッサ吐出圧力の低減（清掃・フィルター類取替）	コンプレッサのフィルター清掃により吐出圧力を低減し、省エネを図る。	2	—	—
3.空気配管の漏れ防止	空気配管からの漏れ対策を定期的実施することにより、漏れ量を低減し、コンプレッサの電力使用量を削減する。	1	—	—
4.脱臭設備関連の短時間停止（間欠運転）	発酵槽にある吸気、脱臭ファン、換気扇を臭気の発生状況や外気温、時間帯などを考慮し、間欠運転やタイマー運転等で省エネを図る。	96	300	3.1
5.換気扇・脱臭ファンを高効率モータに更新	現在使用している三相モータを高効率モータに更新することで省エネを図る。	27	130	4.8
6.デマンド監視装置導入による省エネ	モニタ付きのデマンド監視装置を導入して、契約電力を下げただけでなく、エネルギー使用状況を「見える化」し、季節ごとに目標値を変えることで年間の電力使用量を削減する。	99	400	4.0
	合計	236	830	—

### ◆ 削減効果の見込み（全エネルギー削減ポテンシャル）

光熱水費	<p>対策前 3,922 対策後 3,483 削減効果: 439千円</p>	<p>施設外観</p>
CO <sub>2</sub> 排出量	<p>対策前 123.0 対策後 113.3 削減効果: 9.7t-CO<sub>2</sub></p>	
原油換算	<p>対策前 63.0 対策後 57.7 削減効果: 5.3kL</p>	

### ◆ 他にも適用できる施設例

- 昼休み等において消灯の余地のある施設
- コンプレッサを使用している施設

- 多くの機械が日中継続運転をしており、設備の間欠運転化の余地がある施設
- 高効率モータやデマンド監視装置が未導入の施設

#### ◆ その他の効果

- 電気使用量の大きな機械を稼働させるときは、それぞれ稼働時間をずらすことで、最大電力が抑えられる。
- 「ビジエネ」(中部電力㈱が運営する事業者向け WEB サービス) への登録により、“無料で” 電気使用状況の“見える化” が可能になり、「運用改善による省エネの余地」、「最適な料金プラン」や「空調機等の機器の更新における最適必要能力」などを検討するための有益な情報が得られる。